

総論研究編

I 社会科教育の役割

○はじめに

社会科の指導をするに当たって、第一に教師が心すべきことは、現代社会において社会科教育が果たす役割をしっかり認識して日々の指導に当たることである。

そのためには、まず、社会科という教科が生まれた背景とその後の経緯の理解が不可欠である。

次に、今日の社会がどのような様相であるかを理解する必要がある。それを受け、社会科学習の求めている目標と内容を理解する必要がある。

以下、具体的に述べる。

1. 初期社会科の目的と役割

(1)社会科の発足

今日の社会科は、第二次世界大戦終了後の連合国軍司令部（GHQ）による占領政策の一環である、教育の民主化施策の一つとして導入された。

それ以前は地理、国史、修身などとして行われていた授業を新たに「社会科」として新設したのである。

具体的には、アメリカで行われていたバージニア・プラン等、アメリカの各州の実際の指導方法をモデルとした、「ソーシャル・スタディーズ」（social studies）として成立した。

その基盤となる考え方方は次の通りである。

例えば、社会生活は生産、消費、交通（流通）、教育、政治などの社会（的）機能の様々な関連の中で成り立っている。これら学習内容の範囲や領域をスコープ（scope）として横軸的にする。

一方、児童・生徒が体験する家庭やクラス、学校生活や近隣・地域社会、県や国といった社会生活の広がりを同心円的にとらえた学習の手順や観点を、シークエンス（sequence）として縦軸的にする。

それら、スコープ（学習領域や範囲）とシークエンス（経験領域の広がり）を組み合わせた学習方法の道筋としてのコース・オブ・スタディ（course of study）としてつくられたのである。

この、「スコープ」と「シークエンス」の組み合せで社会生活を営む児童・生徒に社会的な機能の相互関連と相互依存関係を自分の生活体験と組み合

玉川大学客員教授 小林弘和

わせて理解させようとしていた。それ故「経験主義的学習方法」とも称されたのである。

具体的には、学習の導入段階で、子どもが日常生活で接する、社会的な出来事の経験や体験、児童活動などを生かして、「おや、どうしてだろう?」というような素朴な疑問や課題意識をもたせ、意欲化を促す方法が取られた。

次に、それらの社会的事象を、現地で具体的に調査する、観察するなどの具体的活動を通して、課題や疑問を解決していく方法が多用された。

その際、小学校低学年では遊び的要素を取り入れた、いわゆる「ごっこ活動」やペーパーサート（紙人形劇）などを取り入れて、気付いた事柄や分かったことを発表したりする活動が取り入れられていた。

高学年では、調べたことを記録、整理し、まとめて、グラフ化したり、〇〇新聞等を作成して発表し合うような活動も行われていた。

これらの調べ活動などを「探究活動」と称した。

いずれの場合でも、調べた事柄だけの発表ではなく、自分はどう思ったか、どんなことが疑問に残ったのか等、探究活動から得られた情報や知識・理解をまとめ、他の類似の社会的事象と比較したりするなどして、自分の考えを加えて表現する学習が取り入れられていた。

これらの活動を通して、社会的事象がそれぞれ関連し合いながら自分たちの生活に密接に結び付いていることを理解させようとした。

その意味では、社会的事象を単なる個々の知識として理解するのではなく、社会的事象の相互依存関係の中で理解させようとしていたのである。

このような学習活動は今日でも「探究的活動」と称され、探究的な学習活動で学習のねらいを解決していく方法を「探究的学習」と称して定着している。「総合的な学習の時間」の目標の中に、その考え方方が色濃く反映されている。以下長い引用する。

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学びやものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようとする。（中学校目標）

このような学習方法は総称して「問題解決型学習方法」として、現在に至っている。

これらの指導法は、子どもの経験や身近な社会的事象を一つの核として学習を進める指導計画であることから「コア・カリキュラム」とも称された。

しかし、①基礎的・基本的知識の着実な習得が必ずしも十分でない、②学習内容の系統性・客觀性に乏しい、③地域性に左右され全国的な統一性に課題がある、④教師間の指導力量により学習効果に格差が生じやすい、などの課題が生まれ「這い回る経験主義」との批判を受けることとなった。

しかし、身近な出来事の中から子どもが興味、関心をもつものや地域の特性に応じて教材を選択し、主体的な活動を重視する、当時のこのような多彩な学習活動は、今日でいうところの「アクティブ・ラーニング」を彷彿とさせるものでもあった。

子どもが自分の考えを整理し、判断するといった、思考や判断の活動、さらには、それらをまとめて発表する表現の活動などは、頭の中で考える思考活動（内的言語活動）と、理解したことを様々な言語活動で表現する活動（外的言語活動）を伴うものでもあった。

その意味では、今日盛んに喧伝されている言語活動重視の先駆けともいえるものであった。

(2)社会を学ぶ視点

アメリカのプランを模倣してスタートした初期社会科であったが、そこでの社会的事象の学び方は以下の3点に集約されていた。

- 自分（私）と他人の関係
- 人間と社会環境・自然環境の関係
- 個人と社会制度の関係

初期の社会科はこの三つの視点から人間と社会生活との関係を複合的・総合的・包括的に学ぶ教科としての特質をもっていた。

この三つの視点は、社会科の内容と学習方法を網羅したものであり、社会的事象を学ぶ視点として今まで引き継がれてきた「不易の視点」でもある。

すでに述べたように、社会科を学ぶ視点は社会生活と自分との関わりであり、社会的事象相互の有機的関連について理解することであった。

その意味では、社会的事象を単なる個々の羅列的な知識として理解する〈他人事の知識〉ではなく、自分の生活と関係付けて理解する〈自分事の知識〉としての視点をもっていた学習でもあった。

また、その学び方も、自分⇒他人との関係⇒社会

環境や自然環境との結び付き⇒社会制度や仕組み、などという社会的事象の学びの広がりの視点においても今日の社会科指導と大きな隔たりはないのである。

改訂された学習指導要領の求める学習方法である問題解決的学習方法や、思考力・判断力・表現力の育成の視点、さらには、言語活動の重視や意欲的な学習方法の象徴として語られる「アクティブ・ラーニング」等の考え方方が、社会科の黎明期に先達の知恵と工夫により形成されていたことは瞳日すべきである。

その後、幾度もの学習指導要領の変遷を経て、今日の社会科として引き継がれてきた。次に主な変遷を記す。

③社会科の変遷

○道德と特別活動の新設

昭和33年には、各教科・道德・特別教育活動及び学校行事として編成され、私と他人との関係についての一部が「道德」と「特別教育活動・学校行事」の内容として分離独立した。

例えば、道德の内容である《主として他の人のとかかわりにすること》や《主として集団や社会とかかわりにすること》は初期の社会科が担っていた内容と軌を同じくするものである。これらが、道德の時間の指導内容として新たに創設された。

○生活科の新設

平成元年には小学校低学年の社会科と理科が融合する形で「生活科」が新設された。その目標には《自分と身近な人々、社会及び自然とかかわりに関心をもち》と目標に示され、その究極の目標が《自立への基礎を養う》と示されているが、これらも初期の社会科のねらいを色濃く反映している。

○総合的な学習の時間の創設

平成10年には、地域や児童・生徒の実態に応じて横断的・総合的な学習や児童・生徒の興味・関心等に基づく学習を行う教育活動として「総合的な学習の時間」が創設された。

この、総合的な学習の時間の学習方法は、前述したように、初期社会科の指導原理である探究的な学習活動を色濃く受け継ぐ形で新設されている。

2 地方公共団体の政治のしくみ

本時の ねらい

- ・地方公共団体のしくみと役割、また地方財政について理解させる。

学習の流れ

導入

展開

まとめ

学習活動

- ▶導入用を見て何を行っているか答えさせる。
- ▶地方自治のしくみについて、執行機関の公職者=首長、議決機関=地方議会の名称をさせ、その構成を述べる。〔2〕
- ▶自分の住んでいる地方公共団体のウェブサイトやパンフレットなどを活用し、財政を調べる。○○費が多い里川は何か、考え方をせん。〔56〕
- ▶自主財源が少ない地方公共団体への対応と改善点を述べる。
- ▶2000(平成12)年からはじまつた「三仙一休」改定と、市町村合併が進んでることにもふれる。



筆者 指では、神奈川県は小田急線(今井)により、1990年への「青空国際」の貢献が、神奈川(下)と千葉(上)の4市、埼玉への「青空国際」への立ち入り、多額負担に至りたことの原因が定められている。

最終板書例 本時の要点

1 地方公共団体の政治のしくみ

- ・地方公共団体(地方自治体)
- ・助人自治を行う団体…都道府県や市町村



2 地方財政

財源の確保…地方税(平均40%以下)→地域住民

地方債

- ・地方交付税交付金
- ・国庫支出金

三仙一休改定

- ①國から地方への補助負担金を減らす。
- ②地方交付税を緩らす。
- ③国税の税源の一が地方税に移す。

資料書 P.114~115
図表 4

実験機

- 執行機関や議決機関(地方議会)にどのような関係にあるでしょう。〔1〕はそれぞれに対し直接当たる権利をもつてゐる。議会は条例を制定したりして住民の要求に答える。執行機関は行政委員会などを通じ监察や教育行政を行ひ
- 図5-6と比べ、導入(財政収入)にはどんな特色がありますか。〔1〕は多額の公債費が多い。〔2〕は多額の公債費が多い。〔3〕は多額の公債費が多い。〔4〕は多額の公債費が多い。〔5〕は多額の公債費が多い。〔6〕は多額の公債費が多い。〔7〕は多額の公債費が多い。〔8〕は多額の公債費が多い。〔9〕は多額の公債費が多い。〔10〕は多額の公債費が多い。〔11〕は多額の公債費が多い。〔12〕は多額の公債費が多い。〔13〕は多額の公債費が多い。〔14〕は多額の公債費が多い。〔15〕は多額の公債費が多い。〔16〕は多額の公債費が多い。〔17〕は多額の公債費が多い。〔18〕は多額の公債費が多い。〔19〕は多額の公債費が多い。〔20〕は多額の公債費が多い。〔21〕は多額の公債費が多い。〔22〕は多額の公債費が多い。〔23〕は多額の公債費が多い。〔24〕は多額の公債費が多い。〔25〕は多額の公債費が多い。〔26〕は多額の公債費が多い。〔27〕は多額の公債費が多い。〔28〕は多額の公債費が多い。〔29〕は多額の公債費が多い。〔30〕は多額の公債費が多い。〔31〕は多額の公債費が多い。〔32〕は多額の公債費が多い。〔33〕は多額の公債費が多い。〔34〕は多額の公債費が多い。〔35〕は多額の公債費が多い。〔36〕は多額の公債費が多い。〔37〕は多額の公債費が多い。〔38〕は多額の公債費が多い。〔39〕は多額の公債費が多い。〔40〕は多額の公債費が多い。〔41〕は多額の公債費が多い。〔42〕は多額の公債費が多い。〔43〕は多額の公債費が多い。〔44〕は多額の公債費が多い。〔45〕は多額の公債費が多い。〔46〕は多額の公債費が多い。〔47〕は多額の公債費が多い。〔48〕は多額の公債費が多い。〔49〕は多額の公債費が多い。〔50〕は多額の公債費が多い。〔51〕は多額の公債費が多い。〔52〕は多額の公債費が多い。〔53〕は多額の公債費が多い。〔54〕は多額の公債費が多い。〔55〕は多額の公債費が多い。〔56〕は多額の公債費が多い。〔57〕は多額の公債費が多い。〔58〕は多額の公債費が多い。〔59〕は多額の公債費が多い。〔60〕は多額の公債費が多い。〔61〕は多額の公債費が多い。〔62〕は多額の公債費が多い。〔63〕は多額の公債費が多い。〔64〕は多額の公債費が多い。〔65〕は多額の公債費が多い。〔66〕は多額の公債費が多い。〔67〕は多額の公債費が多い。〔68〕は多額の公債費が多い。〔69〕は多額の公債費が多い。〔70〕は多額の公債費が多い。〔71〕は多額の公債費が多い。〔72〕は多額の公債費が多い。〔73〕は多額の公債費が多い。〔74〕は多額の公債費が多い。〔75〕は多額の公債費が多い。〔76〕は多額の公債費が多い。〔77〕は多額の公債費が多い。〔78〕は多額の公債費が多い。〔79〕は多額の公債費が多い。〔80〕は多額の公債費が多い。〔81〕は多額の公債費が多い。〔82〕は多額の公債費が多い。〔83〕は多額の公債費が多い。〔84〕は多額の公債費が多い。〔85〕は多額の公債費が多い。〔86〕は多額の公債費が多い。〔87〕は多額の公債費が多い。〔88〕は多額の公債費が多い。〔89〕は多額の公債費が多い。〔90〕は多額の公債費が多い。〔91〕は多額の公債費が多い。〔92〕は多額の公債費が多い。〔93〕は多額の公債費が多い。〔94〕は多額の公債費が多い。〔95〕は多額の公債費が多い。〔96〕は多額の公債費が多い。〔97〕は多額の公債費が多い。〔98〕は多額の公債費が多い。〔99〕は多額の公債費が多い。〔100〕は多額の公債費が多い。〔101〕は多額の公債費が多い。〔102〕は多額の公債費が多い。〔103〕は多額の公債費が多い。〔104〕は多額の公債費が多い。〔105〕は多額の公債費が多い。〔106〕は多額の公債費が多い。〔107〕は多額の公債費が多い。〔108〕は多額の公債費が多い。〔109〕は多額の公債費が多い。〔110〕は多額の公債費が多い。〔111〕は多額の公債費が多い。〔112〕は多額の公債費が多い。〔113〕は多額の公債費が多い。〔114〕は多額の公債費が多い。〔115〕は多額の公債費が多い。〔116〕は多額の公債費が多い。〔117〕は多額の公債費が多い。〔118〕は多額の公債費が多い。〔119〕は多額の公債費が多い。〔120〕は多額の公債費が多い。〔121〕は多額の公債費が多い。〔122〕は多額の公債費が多い。〔123〕は多額の公債費が多い。〔124〕は多額の公債費が多い。〔125〕は多額の公債費が多い。〔126〕は多額の公債費が多い。〔127〕は多額の公債費が多い。〔128〕は多額の公債費が多い。〔129〕は多額の公債費が多い。〔130〕は多額の公債費が多い。〔131〕は多額の公債費が多い。〔132〕は多額の公債費が多い。〔133〕は多額の公債費が多い。〔134〕は多額の公債費が多い。〔135〕は多額の公債費が多い。〔136〕は多額の公債費が多い。〔137〕は多額の公債費が多い。〔138〕は多額の公債費が多い。〔139〕は多額の公債費が多い。〔140〕は多額の公債費が多い。〔141〕は多額の公債費が多い。〔142〕は多額の公債費が多い。〔143〕は多額の公債費が多い。〔144〕は多額の公債費が多い。〔145〕は多額の公債費が多い。〔146〕は多額の公債費が多い。〔147〕は多額の公債費が多い。〔148〕は多額の公債費が多い。〔149〕は多額の公債費が多い。〔150〕は多額の公債費が多い。〔151〕は多額の公債費が多い。〔152〕は多額の公債費が多い。〔153〕は多額の公債費が多い。〔154〕は多額の公債費が多い。〔155〕は多額の公債費が多い。〔156〕は多額の公債費が多い。〔157〕は多額の公債費が多い。〔158〕は多額の公債費が多い。〔159〕は多額の公債費が多い。〔160〕は多額の公債費が多い。〔161〕は多額の公債費が多い。〔162〕は多額の公債費が多い。〔163〕は多額の公債費が多い。〔164〕は多額の公債費が多い。〔165〕は多額の公債費が多い。〔166〕は多額の公債費が多い。〔167〕は多額の公債費が多い。〔168〕は多額の公債費が多い。〔169〕は多額の公債費が多い。〔170〕は多額の公債費が多い。〔171〕は多額の公債費が多い。〔172〕は多額の公債費が多い。〔173〕は多額の公債費が多い。〔174〕は多額の公債費が多い。〔175〕は多額の公債費が多い。〔176〕は多額の公債費が多い。〔177〕は多額の公債費が多い。〔178〕は多額の公債費が多い。〔179〕は多額の公債費が多い。〔180〕は多額の公債費が多い。〔181〕は多額の公債費が多い。〔182〕は多額の公債費が多い。〔183〕は多額の公債費が多い。〔184〕は多額の公債費が多い。〔185〕は多額の公債費が多い。〔186〕は多額の公債費が多い。〔187〕は多額の公債費が多い。〔188〕は多額の公債費が多い。〔189〕は多額の公債費が多い。〔190〕は多額の公債費が多い。〔191〕は多額の公債費が多い。〔192〕は多額の公債費が多い。〔193〕は多額の公債費が多い。〔194〕は多額の公債費が多い。〔195〕は多額の公債費が多い。〔196〕は多額の公債費が多い。〔197〕は多額の公債費が多い。〔198〕は多額の公債費が多い。〔199〕は多額の公債費が多い。〔200〕は多額の公債費が多い。〔201〕は多額の公債費が多い。〔202〕は多額の公債費が多い。〔203〕は多額の公債費が多い。〔204〕は多額の公債費が多い。〔205〕は多額の公債費が多い。〔206〕は多額の公債費が多い。〔207〕は多額の公債費が多い。〔208〕は多額の公債費が多い。〔209〕は多額の公債費が多い。〔210〕は多額の公債費が多い。〔211〕は多額の公債費が多い。〔212〕は多額の公債費が多い。〔213〕は多額の公債費が多い。〔214〕は多額の公債費が多い。〔215〕は多額の公債費が多い。〔216〕は多額の公債費が多い。〔217〕は多額の公債費が多い。〔218〕は多額の公債費が多い。〔219〕は多額の公債費が多い。〔220〕は多額の公債費が多い。〔221〕は多額の公債費が多い。〔222〕は多額の公債費が多い。〔223〕は多額の公債費が多い。〔224〕は多額の公債費が多い。〔225〕は多額の公債費が多い。〔226〕は多額の公債費が多い。〔227〕は多額の公債費が多い。〔228〕は多額の公債費が多い。〔229〕は多額の公債費が多い。〔230〕は多額の公債費が多い。〔231〕は多額の公債費が多い。〔232〕は多額の公債費が多い。〔233〕は多額の公債費が多い。〔234〕は多額の公債費が多い。〔235〕は多額の公債費が多い。〔236〕は多額の公債費が多い。〔237〕は多額の公債費が多い。〔238〕は多額の公債費が多い。〔239〕は多額の公債費が多い。〔240〕は多額の公債費が多い。〔241〕は多額の公債費が多い。〔242〕は多額の公債費が多い。〔243〕は多額の公債費が多い。〔244〕は多額の公債費が多い。〔245〕は多額の公債費が多い。〔246〕は多額の公債費が多い。〔247〕は多額の公債費が多い。〔248〕は多額の公債費が多い。〔249〕は多額の公債費が多い。〔250〕は多額の公債費が多い。〔251〕は多額の公債費が多い。〔252〕は多額の公債費が多い。〔253〕は多額の公債費が多い。〔254〕は多額の公債費が多い。〔255〕は多額の公債費が多い。〔256〕は多額の公債費が多い。〔257〕は多額の公債費が多い。〔258〕は多額の公債費が多い。〔259〕は多額の公債費が多い。〔260〕は多額の公債費が多い。〔261〕は多額の公債費が多い。〔262〕は多額の公債費が多い。〔263〕は多額の公債費が多い。〔264〕は多額の公債費が多い。〔265〕は多額の公債費が多い。〔266〕は多額の公債費が多い。〔267〕は多額の公債費が多い。〔268〕は多額の公債費が多い。〔269〕は多額の公債費が多い。〔270〕は多額の公債費が多い。〔271〕は多額の公債費が多い。〔272〕は多額の公債費が多い。〔273〕は多額の公債費が多い。〔274〕は多額の公債費が多い。〔275〕は多額の公債費が多い。〔276〕は多額の公債費が多い。〔277〕は多額の公債費が多い。〔278〕は多額の公債費が多い。〔279〕は多額の公債費が多い。〔280〕は多額の公債費が多い。〔281〕は多額の公債費が多い。〔282〕は多額の公債費が多い。〔283〕は多額の公債費が多い。〔284〕は多額の公債費が多い。〔285〕は多額の公債費が多い。〔286〕は多額の公債費が多い。〔287〕は多額の公債費が多い。〔288〕は多額の公債費が多い。〔289〕は多額の公債費が多い。〔290〕は多額の公債費が多い。〔291〕は多額の公債費が多い。〔292〕は多額の公債費が多い。〔293〕は多額の公債費が多い。〔294〕は多額の公債費が多い。〔295〕は多額の公債費が多い。〔296〕は多額の公債費が多い。〔297〕は多額の公債費が多い。〔298〕は多額の公債費が多い。〔299〕は多額の公債費が多い。〔300〕は多額の公債費が多い。〔301〕は多額の公債費が多い。〔302〕は多額の公債費が多い。〔303〕は多額の公債費が多い。〔304〕は多額の公債費が多い。〔305〕は多額の公債費が多い。〔306〕は多額の公債費が多い。〔307〕は多額の公債費が多い。〔308〕は多額の公債費が多い。〔309〕は多額の公債費が多い。〔310〕は多額の公債費が多い。〔311〕は多額の公債費が多い。〔312〕は多額の公債費が多い。〔313〕は多額の公債費が多い。〔314〕は多額の公債費が多い。〔315〕は多額の公債費が多い。〔316〕は多額の公債費が多い。〔317〕は多額の公債費が多い。〔318〕は多額の公債費が多い。〔319〕は多額の公債費が多い。〔320〕は多額の公債費が多い。〔321〕は多額の公債費が多い。〔322〕は多額の公債費が多い。〔323〕は多額の公債費が多い。〔324〕は多額の公債費が多い。〔325〕は多額の公債費が多い。〔326〕は多額の公債費が多い。〔327〕は多額の公債費が多い。〔328〕は多額の公債費が多い。〔329〕は多額の公債費が多い。〔330〕は多額の公債費が多い。〕

地方債

- ・地方交付税交付金
- ・国庫支出金

三仙一休改定

- ①國から地方への補助負担金を減らす。
- ②地方交付税を緩らす。
- ③国税の税源の一が地方税に移す。

学習資料

山【写真】地方議会のようす

【写真】…写真是大坂市議会のようすである。このような市議会と同様のものに町議会、村議会があり、さらに市町村が設している都道府県にもそれらの都道府県議会があることを明確にする。また、地方議会とは、市(区)議会、町議会などであることを理解させる。

【写真】…地方議会の仕事としては、条例の制定、改定、予算の議決、決算の審査などがある。

地方議会の招集は地方公共団体の首長(市町村長)が行う。

地方議会には、定期会と臨時会がある。定期会は年に4回(4月、7月、10月、1月)開催される。臨時会は必要がある場合に随时に招集されるもの。

条例とは、法律の範囲内で地方議会により定められる法のこと。その地方公共団体のみに適用され、原則を設けることもできる。都道府県条例と市町村条例がある。

地方議会は、衆議院、參議院という院制をとる場合とは異なり、一院制である。

地方議会の場合には「議場」の語を用いるが、議会の場合には「議場」を使う。

山【図】地方自治のしくみ

【写真】…地方公共団体は「基礎自治体」である市(区)町村と、基礎自治体ではできない「広域自治体」である都道府県がある。広域自治体でもできない行政を国が担当している。

【写真】…図でオレンジ色が基礎自治体である市(区)町村であり、緑色が基礎自治体である都道府県である。青は他の地方公共団体に共通する機関である。

【写真】…議長と議会との関係は、議長が議長に対して行う不信任決議や、議長がもつている議会解散権について説明する。

山【図】議長の選挙権、被選挙権

【写真】…選挙権は15歳以上であるが、地方議会の議員を市町村長の被選挙権は25歳以上、都道府県知事の被選挙権は30歳以上であること。任期は4年であることを明確にする。また、年齢制限のある議員を考えるとよい。

山【図】地方財政の内訳

【写真】…地方公共団体の収入(財政収入)は国民の租税(税金)から成り立っていることを明確にする。そして、そのうち約60%が国の予算にまわり、そこから国に対する支給や地方交付税や地方交付税交付金として地方へあてられていることを理解させる。

学習資料

へあてられていることを理解させる。

【図】…このグラフは2013年度の全国の地方公共団体(都道府県、市町区町村)合計の収支である。

【図】…財政収入が1億～3億と4億～24億の都道府県を例示している。東京都は東京都の約7割の収入をもつ、またこれが大きな中央公共団体が地方税の割合が非常に高いことに気づかせる。

【図】…グラフから地方税の割合が少なく、田から田の支給(依存財源)に依存している地方公共団体の大半が、田から田の支給(依存財源)に依存している。この状況に対し、はかりして地方の独立性を生かした行政が可能であるかを考えさせる。

山【図】地方公共団体の財政支出

【写真】…都道府県は教育費の割合が最も高く、市町村の場合は生活費の割合が高い。また、どちらも公債費の割合が高いことにも注目させる。

山【図】移行後の市町村数の推移

【写真】…移行後、新制中学校の設置管理、市町村化や自治化等の創設の事務、社会福祉、保健衛生等の新規の新しい事務が市町村の手荷とされ、行政事務の能率的効率的ためには組織の合理化が必要とされた。そこで「市町村の大合併」では、1953(昭和28)年の町村合併促進法及びこれに続く新市町村建設促進法により、「町村数を約3分の1に減少することを目指す」とする町村合併促進基本計画の達成が図られた。

さらに、1999(平成11)年からは「平成の大合併」が行われ、3229あった町村は2010年には1727と約2分の1になった。背景には地方分権の促進、少子高齢化の進展、景気の悪化、財政状況及び日常生活圧力の拡大により、市町村の行政基盤を強化するとともに、より効率的・効率的な行政運営の実現を図る必要があった。

補充資料

山【図】廃棄物処理事業の廃止

廃棄物処理業務は、地方公共団体の機関に過度の負担を与えており、また、国と地方公共団体との関係を上下、不平等関係において上位ある一元集中型システムの中核的部品であるとされた。こうした状況を是正することを目的に1995(平成7)年に「地方分権推進法」が制定施行された。同時にによって改組された「地方分権推進委員会」は分権型社会の創造をめざして、機関委任平野の廃止を勧告した。この結果、2000年4月1日から施行された地方自治法において機関委任事務が終了された。

第1章 私たちの生活と現代社会(その1)

解説例・解説→P290

- 次のグラフは、構成別世帯数の割合の変化を示している。これを見て、次の各問に答えなさい。

- (1) グラフ中の()にあてはまる語句

を書きなさい。

- (2) ()世帯にふくまれるものとして適切でないものを次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 夫婦だけの世帯
イ 夫婦と未婚の子どもの世帯
ウ 離婚した単身者の世帯
エ 父または母と未婚の子どもの世帯

- (3) 単独世帯が近年増えている理由の説明として適切なものを次のア～エから全て選び、記号を書きなさい。

- ア 結婚をしない単身者が増えたから。
イ 結婚後、親と住まない子どもが増えたから。
ウ 独り暮らしの高齢者が増えたから。
エ 女性の社会進出が増えたから。

- (4) 単独世帯が増えていることなどから、近年の日本の社会では、どのような現象が起こっているとわかるか。

- 次の各問に答えなさい。

- (1) 次の文中の()にあてはまる語句を書きなさい。

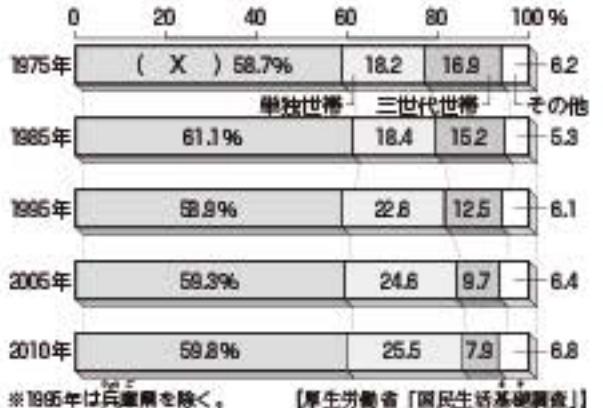
- ① 文化には人類共通の部分があるが、これを文化の()性という。
② 日本は()から漢字をはじめ、宗教や行事、食文化など多くの面で影響を受けた。しかし、日本は模倣ではなく、自国の文化にその時代の外来文化を受け入れながら、独自の新しい文化を生み出してきた。
③ 現代の日本は、人々の情報が国境をこえて行き交う国際化の進展により、さまざまな人々が共生する()社会が形成されてきている。

- ④ 日本には()の神という言葉があるように、日本人は宗教への寛容性、多様性をあわせもっている。

- (2) 次のア～エは、日本に古くから伝わる年中行事を示している。ア～エを年中行事が行われる日付の順に並べ替え、記号を書きなさい。

- ア お盆：現世に立ち戻ってくるとされる期間に先祖の靈と魂をむかえ入れ、供養する。
イ 端午（の節句）：江戸時代以降は男子の節句とされ、身を守る鬼や魔を振り、男子の成長や立身出世を願ってお祝いをする。
ウ 七五三：子どもの成長を感謝し、厄払いと今後の健やかな成長を願って神社に参拝する。
エ 七草：せりやなづな、はこべらなどの七草を入れて炊いた七草粥を食べて一年間の無病息災を願う。

- (3) 次の写真是、近年、駅などで多く見られるようになった標識を示している。このような標識が増えた理由を、簡潔に書きなさい。



- 次のグラフは、世界のおもな6か国の食料自給率の推移を示している。これを見て、次の各問に答えなさい。

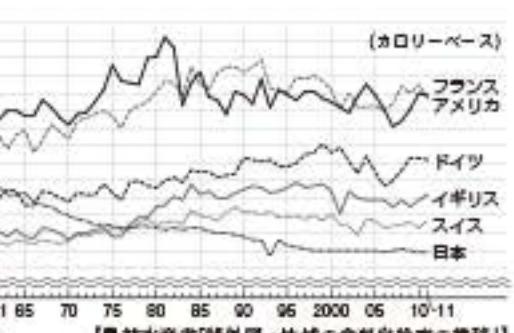
- (1) グラフから読み取ることとして適切なものを次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 1961年に比べて食料自給率が下がっているのは、日本だけである。

- イ 2003年の食料の国内生産量が、国内消費量を上回っている国は3か国ある。

- ウ 1961年に比べて、2003年の日本の食料自給率は約半分に下がっている。

- エ 日本とアメリカの食料自給率の差が開いたのは、2000年以降である。



- (2) 日本の食料自給率の低下は、海外からの食料輸入の増加を意味している。これについて、Aさんは次のような意見を発表した。これを読んで、あとの各問に答えなさい。

Aさん：交通・通信が高度に発達した現代世界では、人々が活発に行き交い、世界各国の結びつきはより緊密になっています。このような□化のものでは、何が何でも自国でもものを生産するというのは古い考え方です。国際分業という言葉もあります。世界各地で安くつくられたものを効率的に使えば、それだけ日本国民の利益にもなると思います。

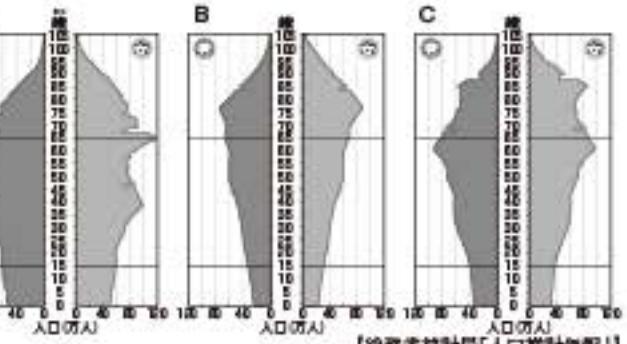
- ① 文中の□にあてはまる語句を、カタカナ5字で書きなさい。

- ② あなたがAさんの意見に対して、反対意見を述べるならどうなるか。相手国の農業事情や政治事情を考えて具体的に書きなさい。

- ③ 近年、日本国内では、海外からの輸入食材中心の食生活を見直して、地域で生産されたものを地域で消費しようとする動きが進められている。このような動きを何というか。その名称を漢字4字で書きなさい。

- 次の各問に答えなさい。

- (1) 右の図は、日本の年齢別人口構成とその変化を示している。このうち、少子高齢化が最も進んだ状態を示しているのはどれか。A～Cから一つ選び、記号を書きなさい。



- (2) 少子高齢化が進んでいくと生じると考えられることがらを次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 労働力人口が減って、失業者が増える。

- イ 未婚化や晚婚化が進む。

- ウ 個人消費が伸び悩むようになる。

- エ 国の人口全体が増え、人口爆発が起こる。

- (3) 次の文を読んで、あとの各問に答えなさい。

20世紀に入ると、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどの□A□を通じて、大量の□B□が日々私たちに伝達される□C□社会が到来した。

- ① □A□にあてはまる語句を、カタカナ4字で書きなさい。

- ② □B□に共通してあてはまる語句を、漢字2字で書きなさい。

- ③ □C□社会において代表的な通信技術となっているインターネットについて、私たちが注意しなければならないのはどのようなことか。「個人」という語句を使って、簡潔に書きなさい。

解答例・解説 第1章 私たちの生活と現代社会(その1)

問題P272~273

問題	解答例	評価の観点	問題作成の意図
1	(1) 被家族	知識・理解	家族構成の基本的知識を答えさせる問いである。
	(2) ウ	思考・判断	
	(3) ア、ウ	思考・判断	家族構成の変化の背景について理解しているかどうかを問うている。
	(4) 少子高齢化	思考・判断 技能	単独世帯の増加や三世代世帯の減少などから、日本社会では少子高齢化が起こっていることを読み取らせる。
2	(1)① 普通 ② 中国 ③ 多文化 ④ 八百万(やおよろず)	知識・理解	文化の定義と日本の文化の特徴が、象徴的・代表的な用語をもとにおさえられているかを問うている。
	(2) エーエーアーウ	知識・理解	日本の伝統的な文化に対する素養を確認する問い合わせ。日本人の生活に密接に関係し、日本人の心のよりどころとなっている代表的な年中行事の時期を正確に理解しているかを確認することができる。
	(3) (例) 海外から来日する外国人や日本に滞在する外国人が増えたから。	思考・判断	多文化社会の身近な実例をもとに、その背景を考えさせる問い合わせ。来日して日本に暮らす外国人が増えていることにより、標識の表示に変化が見られることに気づかせる。
	(4) グローバル	知識・理解	食料自給率のグラフの読み取り。知識によらず、資料を正確に読み取ることができるかどうかを試す問い合わせである。資料を通して、日本の食料自給率低下の現実に気づかせたいというねらいをもっている。
3	(1) ウ	知識・理解 技能	食料自給率の低下とグローバル化の関係性を確認する問い合わせである。
	(2) (例) 海外からの輸入に頼りすぎると、相手国での不作などの農業事情や戦争・日本との関係悪化などの政治事情により、食料確保が難しくなる可能性がある。食料を安定して国民に供給するためには自給率を高める必要がある。	思考・判断 技能	食料自給率の低下が、世界と日本の関係の中でどのような問題点をはらんでいるかを問う問題である。食料の輸入という問題を通じて、グローバル経済の功罪の面にも目を向けさせようというねらいがある。
	(3) 地産地消	知識・理解	地産地消についての基本的知識を確認する問題である。
	(4) (例) メディア(マスコミでも可) ② 情報 ③ (例) 個人情報が流出して悪用されること。	思考・判断 知識・理解 技能	人口ピラミッドの年齢別人口分布で、年少人口の割合と老年人口の割合に着目して、少子高齢化の進行の具合を読み取らせる問い合わせである。Aは2008年、Bは2055年、Cは2030年の人口ピラミッド。
4	(1) B	思考・判断 技能	少子高齢化の進行が招く問題点を理解しているかどうかを問う問題である。
	(2) ウ	思考・判断	情報社会の進展について、基本的知識を問う問題である。
	(3) (例) メディア(マスコミでも可) ② 情報 ③ (例) 個人情報が流出して悪用されること。	思考・判断 知識・理解 技能	情報社会における注意点の一つを、個人情報の流出に絞って答えさせる問い合わせである。

解答例・解説 第1章 私たちの生活と現代社会(その2)

問題P274~275

問題	解答例	評価の観点	問題作成の意図
1	(1) 高度経済成長期	知識・理解	日本経済についての基本的知識を問う問題。
	(2) 電気洗濯機、テレビ、電気冷蔵庫	思考・判断	耐久消費財と生活様式の変化を関連づけて理解しているかどうかを問う問題である。
	(3) 3C	知識・理解	
	(4) カフェーテレビ、クーフー	思考・判断	
2	(5) (第一次) 石油ショック	知識・理解	日本経済の歴史的な転換点についての知識を問う問題。日本経済が外的な要因に影響されやすい点を理解させたい。
	(6) エ	知識・理解	高度経済成長の時期的な特徴を歴史的事実によっておさえさせる問題である。
	(7) A 経済 B IT	知識・理解	
	(8) (例) 海外で生活する日本人の数が2倍以上に増えている。	思考・判断 技能	グローバル化の一つとして、海外で暮らす日本人が増えていることに気づかせ、簡潔に説明する能力を身につけさせたい。
3	(2) (東西) 冷戰	知識・理解	戦後の国際関係についての基本的知識を問う問題。
	(3) (例) アメリカに端を発した金融危機により世界的な不況が起こった。	思考・判断 技能	世界各国の政治・経済・文化が緊密に結びついているグローバル化の一環として、他国の経済の負の影響も受けやすい点をおさえさせる。世界同時不況などとも称された事態は、グローバル化と表裏一体となっている。
	(4) (例) 複数の国にまたがって、世界的に活動している企業。	思考・判断 技能	経済のグローバル化の代表例である多国籍企業について、簡潔に説明できる能力を身につけさせたい。
	(5) イ	思考・判断	異文化との接し方を問う問題。異文化を尊重しつつも、むやみに摂取するのではなく、日本文化の個性やすばらしさを見失わず、自國の文化も同時に尊重するという姿勢を理解させたい。
4	(1) A 社会集団 B 家族 C ルール	思考・判断 知識・理解	社会の中のさまざまな集団に属して生活する私たちが、よりよい集団生活を送る上で、価値観や利害、考え方などの違い(対立)をどのように合意していくか、その基本となる知識を問う問題。
	(2) イ	思考・判断	社会集団を正しく分類できるかを問う問題。
	(3) エ	思考・判断	地域社会の変化を具体的に理解しているかを問う問題。
	(4) (1) 合意 (2) (例) 席がつねに満席になっている状態であり、空席の人数に合ったグループから優先して席に案内することで、無駄が生まれないようにすること。 (3) (例) 体育館を利用するすべての部や同好会が参加して意見を交換できる状態になっていないこと。	知識・理解	現代社会をとらえる見方や考え方について、基本的知識を問う問題。

公民的分野 年間指導計画・観点別評価規準表

★	学習内容	担当 教員 名前	学習のねらい	評価基準		評価規準	
				社会的想像への関心・意欲・態度	社会的思考者・判断・表現		
導入	なぜ「公民」を学ぶのか?	1	<ul style="list-style-type: none"> ●過去と未来の接点、今から国際社会へと続く社会の中心に、ヨーロッパが存在するということを読みとらせる。 ●「公民」という言葉の概念について理解を深め、今後の成長を認めさせる。 	<p>地図・歴史・公民の概念図」から、過去と未来の接点、現在から国際社会へと続く社会の中心に、自分がいることを確認し、公民的分野の学習への関心を高めている。</p>	<p>「地図・歴史・公民の概念図」で自分の立場や位置を確認することを通して、人間の社会に対する責任やよりよい社会をめざして社会に参画していくことの重要性について考察し、自分の立場で表現している。</p>	<p>「地図・歴史・公民の概念図」から、過去と未来の接点について理解し、その上で、公民的分野で必要な事を大まかに理解している。</p>	
	人生モノサシ	1	<ul style="list-style-type: none"> ●人生における各時代別の自分の立ち位置から、多面的・多角的に人生を見直し、考え方を変える。 ●自分の人生をシミュレーションすることで、その背景にある社会の動きと関連させ、ひいて分野で学ぶ内容を理解させる。 	<p>自分の人生をシミュレーションし、それぞれの時代について、設定されたテーマに沿って、他社内に考えることができる。</p>	<p>自分の人生をシミュレーションしながら、設定されたテーマについてつぶさに、多面的・多角的にその背景にある社会の動きと関連させてながら考えることができる。</p>	<p>自分の人生を時代に考え方、その背景にある社会の動きを理解し、公民で学ぶる内容を理解することができる。</p>	
第1章 私たちの生活と現代社会	発見! 現代社会の特色	1	<ul style="list-style-type: none"> ●現代社会を囲むの特色を論理して時代を把握させる。 ●日本社会は古い伝統の一に驚きが生じていることを理解させる。 	<p>現代社会の特色について、意識的に分析し検討することができる。</p>	<p>1枚の写真を多くの複数から見し、検討することができる。</p>	<p>複数と複数の複数の複数から見し、検討を分担し検討することができる。</p>	<p>日本の伝統と文化の上で、グローバル化や特徴が飛びいていることを理解できる。</p>
	第1節 私から見える 現代の日本社会	(5)	<ul style="list-style-type: none"> ●現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがめられるところを理解するとともに、それらが政治、経済、日常生活に影響をあたえていることを学ぶとする。 	<p>日本、との風俗とふう況から、少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代日本社会の特色に関するもの、それらの影響や関連性などについて客観的に追究することができる。</p>	<p>少子高齢化、情報化、グローバル化などを政治、経済、国際関係にあたえて、その影響について、多面的・多角的に考察し現実に影響を与えることができる。</p>	<p>またあえて写真や統計資料などから、少子高齢化、情報化、グローバル化などを、その他の現象と一緒に見て、その影響をより深く理解することができる。</p>	<p>現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがあり、それがいかに関連しあいながら、政治、経済、国際関係に影響をあたえていることを理解できる。</p>
世界ともむかわる私	1		<ul style="list-style-type: none"> ●グローバル化により、国際分野と国際競争が加速していることを理解される。 ●自己意識をし、やり方でから、自己と異なる関係をもけるグローバル人材の養成が求められていることに気が付かせる。 	<p>異なる文化との共有や国際協力の必要性が身に付いていることに気づくことができる。</p>	<p>グローバル人材であるためには、日本のアイデンティティ、多文化ながら世界との良好な関係を保てて、多く必要があることを理解できる。</p>	<p>日本への海外出張事の進捗上の資料などを読み取り、グローバル化の現象と類似についてまとめることができる。</p>	<p>グローバル化の進展している現象について理解することができる。</p>
	2 伝統から現代を 知る私	1	<ul style="list-style-type: none"> ●情報社会の到来により生活が便利になる一方で、さまざまな課題が生じていることを考えさせれる。 ●情報社会のことで、音楽を耳にする方法、情報モラルを身に付けることなどの大きさを理解される。 	<p>情報を中心的に利用する力や情報モラルなどの大きさについて、関心をもつことができる。</p>	<p>情報社会の便利な点と課題について考えることができる。</p>	<p>情報社会の実態や社会のしくみの変化のようすについて読みをもとに調べ、まとめることができる。</p>	<p>情報社会の便利な点と課題との関係について理解することができる。</p>
3 私の家庭と 少子高齢化	1		<ul style="list-style-type: none"> ●少子化の進行と少子高齢化による人口構造の変化に気づき、わが国の少子高齢化社会の特徴について理解させる。 ●急速に進むわが国の少子高齢化社会の特徴について考えさせらる。 	<p>少子高齢化が我が国に与える影響について関心をもつことがわかる。</p>	<p>急速に進むわが国の少子高齢化社会の特徴を理解し、特に「育児」と「介護」等への対応について考えることができる。</p>	<p>少子高齢化の問題を理解することができる。</p>	<p>我が国の少子化の進行と少子高齢化による人口構造の変化について気づき、わが国の少子高齢化社会の特徴について理解することができる。</p>
4 家族と郷土	1		<ul style="list-style-type: none"> ●家族の役割と重要性について考えるにとから、家族に対する関心を高めさせる。 ●郷土について考え、郷土愛や郷土の參與に意図するにとから意識を高める。 	<p>家族の役割や郷土の役割について、家族に対する関心を高めることができる。</p>	<p>家族の役割や郷土の役割について、ノートにまとめて話し合うことができる。また、家族の絆について考えることができる。</p>	<p>家族の役割や郷土の役割の実態、郷土愛について理解することができる。</p>	<p>家族の役割や郷土の役割の実態、郷土愛について理解することができる。</p>